例　言

1．この概報は、近畿郵政局の依頼により昭和54年４月から７月にかけて実施した、奈良郵便局移転計画用地（奈良市大宮町５丁目）の発掘調査に関するものである。

2．調査は、奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部が担当し、工楽善通、吉田恵二、綾村　宏、安田龍太郎、亀井伸雄、中村友博、本中　真、佐藤　信、清田善樹、上原真人が参加した。なお、金属探知機による焼土ピットの分布調査は、西村　康、岩本圭輔、植物遺体の同定は、光谷拓実、金属製品の分析は、沢田正昭、秋山隆保が行なった。

3．本書の作成には狩野　久、岡田英男の指導のもとに調査員全員があたり、全体の討議をもとに次のように分担執筆した。Ⅰ－１，２．亀井伸雄、Ⅰ－３．本中　真、Ⅰ－４．岩本圭輔、Ⅱ－１，２，４．亀井伸雄、Ⅱ－３．中村友博、Ⅲ－１．中村友博、Ⅲ－２．安田龍太郎、Ⅲ－３，４．工楽善通、Ⅲ－５．沢田正昭、Ⅲ－６．光谷拓実、Ⅳ．工楽善通、綾村　宏、亀井伸雄。なお、樹木の^{14}Cによる年代測定は、社団法人日本アイソトープ協会に依頼し成果を得た。

4．本書の編集は、亀井伸雄、遺構・遺物・図版の写真は佃　幹雄が担当し、航空写真の撮影はアジア航測株式会社があたった。